

水稲・大豆作における新たな難防除雑草の早期発見・被害軽減総合対策技術

雑草イネと帰化アサガオ類の早期発見・被害軽減のための総合対策マニュアル及び警戒すべき帰化雑草情報

研究開発の背景

- ・我が国の土地利用型作物生産では、近年、除草剤では防除できない新たな難防除雑草による被害が拡大している。
- ・中でも、雑草イネ※1による水稲作での赤米混入被害、海外から侵入する帰化アサガオ類による大豆作での被害は極めて大きい。
- ・既存の除草体系では防除できないことから、現場での早期発見を促すとともに、雑草生態に基づく総合的防除技術の確立が必要。

研究成果の内容

重要雑草の総合対策マニュアル及び警戒すべき帰化雑草情報のパンフレットを作成※2

雑草イネ総合対策マニュアル



雑草イネ
まん延
防止技術

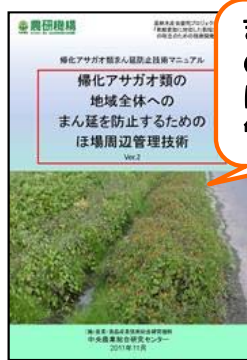
- ・徹底した抜き取り
- ・周辺ほ場の精査
- ・脱落種子の死滅促進
- ・翌年以降の作付けや栽培方法の検討 等

- ・被害軽減のための生産工程における総合対策チェックリスト
- ・早期発見のための水田での識別法
- ・埋土種子動態に基づいた要防除水準

警戒すべき帰化雑草情報

マルバルコウ、オオブタクサ、アレチウリ 各雑草の特徴、防除方法の情報をまとめたパンフレット

帰化アサガオ類総合対策マニュアル



まん延防止
のための
ほ場周辺
管理技術

- ・帰化アサガオ類の種類と特徴
- ・防除適期(開花・結実前)
- ・防除方法と注意事項
 - ・刈り取り
 - ・非選択性茎葉処理除草剤
- ・栽培上の注意事項
- ・防除ツール集(特性と推奨使用方法)
 - ・除草剤(土壌処理剤、茎葉処理剤)
 - ・中耕培土
- ・生態的特性に基づいた防除体系確立のポイント



大豆畑
における
防除技術

導入
メリット

雑草イネや帰化アサガオ類による推定被害額

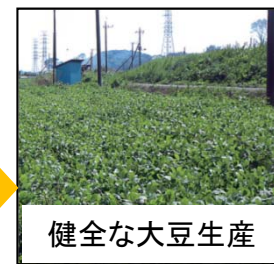
雑草イネ繁茂による被害額(X県の例) : 2千万円/年
帰化アサガオ類繁茂による
減収被害額(全国) : 12億4千万円/年
防除コストの増大(全国) : 3億5千万円/年
(※中央農業総合研究センターによる試算)



雑草イネのまん延による赤米混入被害



マニュアル
を活用した
総合対策
の実施後



重要雑草の早期発見及び効率的・効果的な被害軽減対策が可能となり、莫大な経済損失を回避

期待される効果

- ・雑草イネや帰化雑草の被害拡大を防止して、莫大な経済損失を回避。
- ・難防除雑草が少ない健全な水田輪作の維持。

導入をオススメする対象
全国の水稲生産者及び大豆生産者 等